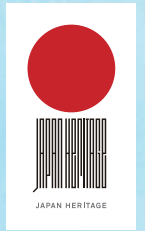




たび ひき つけ に まい え ず  
**旅引付と二枚の絵図が**  
 つた  
**伝えるまち** — ちゅう せい ひ ねの しょう ふう けい  
 — 中世日根荘の風景 —

変わらない風景  
 変わらない心



# ストーリー

ひねのしょう

今から800年前、泉佐野市は上級貴族、九条家の領地「日根荘」でした。  
ここには二枚の荘園絵図と九条政基が書いた「旅引付」という日記が残されています。

絵図には緑豊かな風景に、田畑に恵の水を注ぐため池や水路、社寺などが描かれ、  
日記には500年前の村の生活や人々の様子がいきいきと記されています。

荘園の地を創り、中世から受け継がれてきた現在のこの風景は、  
絵図や日記に描かれた魅力ある農村景観へと誘ってくれるのです。



## ものがたりを今に伝える 二枚の荘園絵図

1234年に日根荘が成立した際、経営の一番の難題は広大な未開地の開発でした。領主の九条家は1309年に日根荘の土地調査に着手し、村の水路やため池、寺社などがきわめて克明に描かれた二枚の絵図を作成します。開発の主要プロジェクトは、井川水路の整備でした。井川は日根神社と慈眼院の間を通り、段丘面に広がる農地を抜けながら、十二谷池まで続く全長約2.75kmを高度差わずか約3mで流れるように作られました。その緻密で大がかりな土木工事からは、村人たちの血のにじむような努力が伝わってきます。この絵図と現代の写真や地図とを比べてみると、驚くほど一致するものが多いことに気づきます。当時作られたため池が、今なお田畑に恵の水を注ぎ、人々に実りを与えてくれているのです。大開発によって発展を遂げた日根荘は、九条家の所有する全国約30カ所の荘園の中でも、自らが開発した重要な荘園へと成長します。では、当時の生活はどのようなものだったのでしょうか。



日根野村荒野開発絵図  
(宮内庁書陵部所蔵)



日根野村・井原村荒野開発絵図  
(宮内庁書陵部所蔵)



政基公旅引付  
(宮内庁書陵部所蔵)

## 貴族の日記 —「政基公旅引付」—

時は戦国時代。武士によって荘園経営が危うくなり始めたころ、当時の領主だった九条政基公は日根荘に入り、入山田村・長福寺に約4年間滞在します。政基公は、この1501年から1505年までの滞りの様子や出来事を、日記につづりました。

大木の村人たちが早ばつに悩まされたときには、滝宮(火走神社)で雨乞いの儀式を行いました。そこで奉納され、政基公が「都に恥じないものだ」と称賛した能は、「ホタキ(雨乞い)神事」として今に受け継がれています。毎年4月2日に大井関大明神(日根神社)で行われた例祭の芸能の素晴らしさにも、政基公は感銘を受けています。また、政基公が滞ることもあった慈眼院には、日本三名塔のひとつである多宝塔が750年の間変わることなく優雅に佇んでいます。ほかに、祭礼、人質事件、戦乱、水害・旱害、疫病、犯罪などの記述が残り、今の風景を眺めながら戦国時代の農民の生活を興味深く想像することができます。

村でいざこざがあったり、  
あちこちから攻められたり  
いろいろ苦労したんじやよ…

くじょう まきもと  
九条 政基公



# 構成文化財一覧表

- ひねのしょういせき  
●日根荘遺跡(16ヶ所) [国史跡]
- ひねのしょうおおぎ のうそんけいかん  
●日根荘大木の農村景観 [重要文化的景観]
- いぬなきさん  
●犬鳴山 [府名勝]
- ひばりじんじゃせうしやみゆきじんじゃほんでん  
●火走神社摂社幸神社本殿 [重要文化財(建造物)]
- じげんいん たほうとう  
●慈眼院 多宝塔 [国宝(建造物)]
- じげんいん こんどう  
●慈眼院 金堂 [重要文化財(建造物)]
- そふく じちんじゆてんまんぐうほんでん  
●総佛寺鎮守天満宮本殿 [重要文化財(建造物)]
- ひなじんじゃまつしりあじじんじゃほんでん  
●日根神社末社比売神社本殿 [大阪府指定(建造物)]
- じげんいんだいにちによらいざぞう  
●慈眼院大日如来坐像 [大阪府指定(彫刻)]
- なかおおぎちくもくぞうやくしによらいざぞうおび  
●中大木地区木造薬師如来坐像及  
両脇侍像 [大阪府指定(彫刻)]
- しっぽうりゅうじ どうはち  
●七宝瀧寺銅鉢 [大阪府指定(工芸)]
- しっぽうりゅうじ げんぼんちやくしよく  
●七宝瀧寺絹本着色  
不動明王二童子四十八使者図 [大阪府指定(絵画)]
- しっぽうりゅうじ げんぼんちやくしよく  
●七宝瀧寺絹本着色  
尊勝曼荼羅図 [泉佐野市指定(絵画)]
- しっぽうりゅうじ げんぼんちやくしよく  
●七宝瀧寺絹本着色  
不動明王八大童子図 [泉佐野市指定(絵画)]
- いぬなきさんしっぽうりゅうじなら  
●犬鳴山七宝瀧寺並びに  
大木村絵図 [泉佐野市指定(歴史資料)]
- じげんいんもくぞうむねふだ  
●慈眼院木造棟札 [泉佐野市指定(歴史資料)]
- みなといせきしゆつどえぼし  
●湊遺跡出土烏帽子 [泉佐野市指定(考古資料)]
- じげんいん きょう  
●慈眼院こけら経 [泉佐野市指定(有形民俗文化財)]
- おおぎひばりじんじゃあきまつになぎょうじ  
●大木火走神社秋祭りの担いダンジリ行事  
[泉佐野市指定(無形民俗文化財)]
- ひねじんじゃ  
●日根神社まくらまつり [泉佐野市指定(無形民俗文化財)]
- いぬなきさんしっぽうりゅうじ  
●犬鳴山七宝瀧寺 [未指定(建造物)]
- つちまる れんげじ  
●土丸蓮華寺 [未指定(建造物)]
- つちまる ごくらくじ  
●土丸極楽寺 [未指定(建造物)]
- ひばりじんじゃ しんじ  
●火走神社ホタギ神事 [未指定(無形民俗文化財)]



中世の絵図1には、ふたこぶの山が④、「大井関大明神」[無辺光院]の一部と思われる⑤、樫井川から取水した⑥が流れ着く十二谷池は「住持谷池」として描かれています。

また、近世の絵図2には①②③が描かれ、その頃から今に伝わるが見て取れます。



【日根野村荒野開発絵図】(宮内庁書陵部所蔵)



【犬鳴山七宝瀧寺並びに大木村絵図】(江戸時代後期)火走神社蔵

## 中世日根荘の風景 周遊ルート

- ① 犬鳴山七宝瀧寺 修験の世界を歩く  
犬鳴山バス停→瑞龍門→両界の瀧→塔の瀧→義犬の墓→本堂→行者の瀧
- ② 「政基公旅引付」の舞台を歩く  
中大木バス停→毘沙門堂→火走神社→西光寺跡→長福寺跡→下大木バス停
- ③ 日根荘大木の農村景観を歩く  
下大木バス停→円満寺→長福寺跡→水間道→禪徳寺・西光寺→東ノ池周辺棚田→蓮華寺(少し足を延ばすと上大木吊り橋)→香積寺跡→粉河道→毘沙門堂→火走神社→中大木バス停
- ④ 土丸・雨山城跡 中世城郭を歩く  
嶺田バス停→土丸蓮華寺・伝橋本正督墓地→井川取水口→粉河道→土丸春日神社・登山口→土丸・雨山城跡
- ⑤ 荘園絵図の世界を歩く 寺社編  
新道出バス停→新道出牛神→粉河道→総佛寺天満宮→井川→慈眼院→井川→日根神社→比売神社→東上バス停(久ノ木バス停→総佛寺天満宮→井川→慈眼院・日根神社→東上バス停の短縮ルート有)
- ⑥ 荘園絵図の世界を歩く かんがいの用水編  
東上バス停→井川沿い→八王子跡→野々宮跡→尼津池→八重治池→十二谷池→JR日根野駅前

## 犬鳴山に 伝わる民話

## 義犬伝説



昔、十世紀の末、山向こうの紀州池田庄に山田某という獵師があり、いつも犬を連れ、この山中で猪や鹿を捕えて生活していました。あるとき、いつものように犬を連れて山に入り、とある岩かげで休んでいると、急に犬がはげしく吠え立て、いくらしかりつけても鳴きやみません。腹を立てた獵師は、どうとう山刀をとり、犬の首を切りつけても鳴きやみません。腹を立てた獵師は、どうとう山刀をとり、犬の首をはねてしまいました。すると、その首が飛び上がり、獵師をひとのみにしようと後、の岩に潜んでいた大蛇ののどもとに喰いつき、かみ殺してしまいました。獵師は、飼主の恩を忘れず主人の危急を救った愛犬の行為に心を打たれ、すぐに弓を折り、犬のために塔婆を建てて、ねんごろにほうむりました。そして、自分の田地を不動堂に寄進したということです。

## ① 犬鳴山七宝瀧寺

未指定  
(建造物)



大木地区の奥深い和泉山脈の不動谷の犬鳴川深谷中に位置します。斉明(さいめい)天皇7(661)年に役小角が開創したと伝えられる葛城修験の中心の行場であり、葛城二十八宿の第八宿にあたります。政基公がいた時代、早はつ年にはこの寺の僧が雨乞いをしました。

## 土丸・大木地区

タイミングを  
合わせて  
ぜひ観たい!

## 伝統のお祭

「旅引付」に記された祭礼から伝わったと見られるお祭が、各地区に残っています。

### 大木地区

## ③ 大木火走神社 秋祭りの担い ダンジリ行事



「ホタキ神事」も行われる、火走神社の秋季例祭です。上大木・中大木・下大木の3台のだんじりの周囲を人が担いで運行する様子は、地域色豊かな風景として親しまれています。  
開催日:10月

### 日根野地区

## ⑤ 日根神社 まくらまつり



飾りまくらをつけた3基の幟(のぼり)が巡行する、華やかで珍しい奇祭です。お祝いを済ませた枕幟がゆっくりと渡御する様子は、春の風物詩となっています。  
開催日:5月4・5日

活気があるのは  
昔と同じじゃ!

## ④ 土丸・雨山城跡



## ひと休み

犬鳴山のもう一つの魅力は、温泉のレジャーも楽しめること。ぜひ

### 湯元温泉荘

泉佐野市大木2234  
☎ 072-459-7015  
🕒 10:00~18:00(日帰り山乃湯)  
🚿 無休

### み奈美亭

泉佐野市大木2236  
☎ 072-459-7336  
🕒 11:00~21:00  
(日帰り入浴)

### 囲炉裏料理 やまどり

泉佐野市大木1774  
☎ 080-4762-8016  
🕒 18:00~22:00  
🚿 不定休

📍:住所 ☎:電話

## ④ 土丸・雨山城跡 (国史跡日根荘遺跡指定地)



熊取町雨山(312m)と泉佐野市土丸山(城ノ山:287m)の2つに連なる、ふたこぶの山頂付近に築かれた中世城郭です。山頂や曲輪などからは、大阪湾や関西国際空港をはじめ大阪南部のまちを、また、大阪府初の国が選定する重要文化的景観となった大木の集落(⑧)も一望できるなど、中世以来の絶景ポイントとして知られています。

## ⑤ 慈眼院 多宝塔 (国史跡日根荘遺跡指定地)

国宝  
(建造物)



天武天皇の勅願寺(ちよくがんじ)として天武天皇2(673)年に開創されたと伝わり、多宝塔は文永8(1271)年に建立された泉佐野市唯一の国宝建築物です。高さ10.5m、下重は一辺が2.7mの方形で、内陣(ないじん)には大日如来坐像(府指定有形文化財)などが安置されています。明治時代までは日根神社と神宮寺の関係でした。

ちょう ふく じ あと

## ② 長福寺跡 (国史跡日根荘遺跡指定地)



政基公の居所となった寺院であり、日根荘の支配を行った政所(まんどころ)だった場所です。当時は、お堂、政基公が住む建物、天満社、井戸などがあったことがわかっています。敷地の一部は現在、史跡の維持管理と周辺景観との調和を目指し、農地として活用しています。

ひ ね の し ょ う お お き の う そ ん け い か ん

## 日根荘大木の農村景観・

ひ ば し り じ ん じ ゃ

## 火走神社

重要文化的  
景観

(国史跡日根荘遺跡指定地)

和泉山脈の豊かな自然に恵まれ、山間盆地の地形を活かした農地や集落が営まれている地域です。ため池灌漑(かんがい)と河川灌漑がいくつも結びついた、伝統的な水路網が取り巻く小区画水田の棚田(たなだ)景観を形成しています。中世日根荘由来のものが多く受け継がれ、また、江戸時代の絵図などから現在の土地利用のあり方がほとんど変わっていないことがわかります。



犬鳴山で  
ちょっと休憩

### スポット

温泉やグルメ、バーベキューなど、休憩しに立ち寄ってみて！

**不動口館**  
泉佐野市大木7  
072-459-7326  
(問合せ時間 8:00~21:00)  
(日帰り入浴)

**犬鳴山バーベキューniku-niku**  
泉佐野市大木1772  
072-459-7259  
10:00~22:00  
(バーベキューは18:00まで)  
不定休

**犬鳴山WOODS**  
泉佐野市大木2243-4  
072-459-7240  
※冬期は営業していません

話番号 営業時間 定休日

宝瀧寺



ひ ね じ ん じ ゃ

## 日根神社 (国史跡日根荘遺跡指定地)



日根荘全体の鎮守で、『政基公旅引付』には毎年4月2日に祭礼があり、猿楽(さるがく)の奉納や競馬(くらべうま)、弓矢神事などが盛大に行われていたと記されています。現在では、毎年5月に行われる「まくらまつり」の宮入りをする神社として親しまれています。

ゆ かわ

## ⑥ 井川 (国史跡日根荘遺跡指定地)

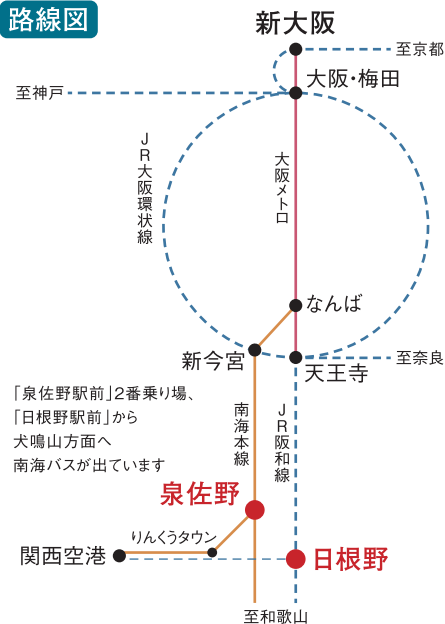


榎井川から取水する水路で、日根荘の中段丘陵面の開発に重要な役割を果たしたと考えられます。土丸取水口から日根神社と慈眼院の境内の中を流れ、十二谷池まで延長約2.75km。現在も日根野地区の主要な水路として機能しています。

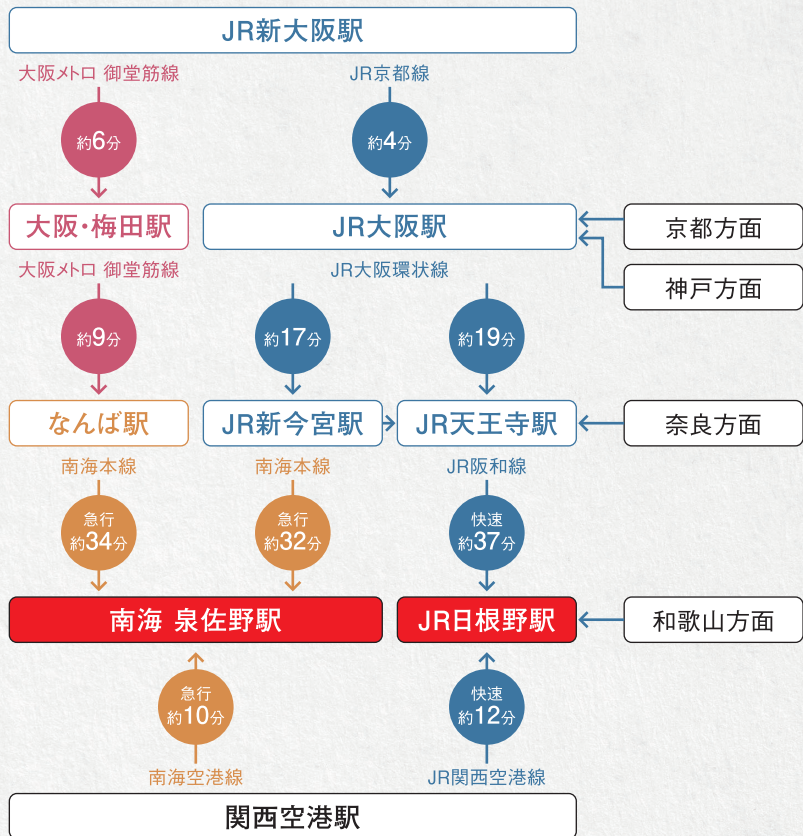


位置図

路線図



—— 泉佐野市へのアクセス ——



鉄道

**大阪方面から:**  
大阪メトロ御堂筋線梅田駅～なんば駅～南海電鉄難波駅～泉佐野駅(特急利用で40分)、  
もしくはJR大阪駅(天王寺駅経由)～日根野駅(60分)

**和歌山方面から:**  
南海電鉄和歌山市駅～泉佐野駅(35分)、  
もしくはJR和歌山駅～日根野駅(35分)

**関西空港から:**  
南海電鉄関西空港駅～泉佐野駅(10分)、  
もしくはJR関西空港駅～JR日根野駅(15分)

車

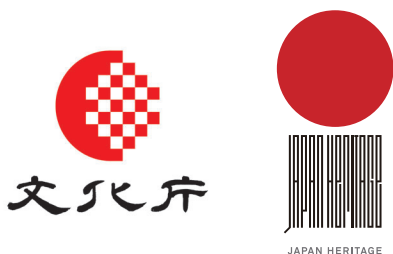
**大阪方面から:**  
吹田IC(中国自動車道)～泉佐野北(阪神高速湾岸線 約60分)～泉佐野市役所(約10分)

**和歌山方面から:**  
和歌山IC(阪和自動車道)～上之郷IC(20分)～泉佐野市役所(10分)

日本遺産とは

「日本遺産(Japan Heritage)」は地域の歴史的の魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産(Japan Heritage)」として文化庁が認定するものです。ストーリーを語る上で欠かせない魅力溢れる有形や無形の様々な文化財群を、地域が主体となって総合的に整備・活用し、国内だけでなく海外へも戦略的に発信していくことにより、地域の活性化を図ることを目的としています。

世界遺産登録や文化財指定は、いずれも登録・指定される文化財(文化遺産)の価値付けを行い、保護を担保することを目的とするものです。一方で日本遺産は、既存の文化財の価値付けや保全のための新たな規制を図ることを目的としたものではなく、地域に点在する遺産を「面」として活用し、発信することで、地域活性化を図ることを目的としている点に違いがあります。



令和元年度「観光拠点整備事業」



日本遺産日根荘推進協議会

〈連絡先〉大阪府泉佐野市教育委員会文化財保護課  
〒598-8550 大阪府泉佐野市市場東1丁目295-3  
TEL:072-463-1212 FAX:072-469-5267  
E-mail:bunkazai@city.izumisano.lg.jp



<https://hinenosho.jp>

2020年3月発行